

新水道ビジョンの具体的施策の見直し(案)の 検討について

第3回 湖西市水道事業経営審議会

日時 令和7年12月23日午後2時00分

場所 湖西浄化センター2階 大会議室

所管 湖西市環境部上下水道課

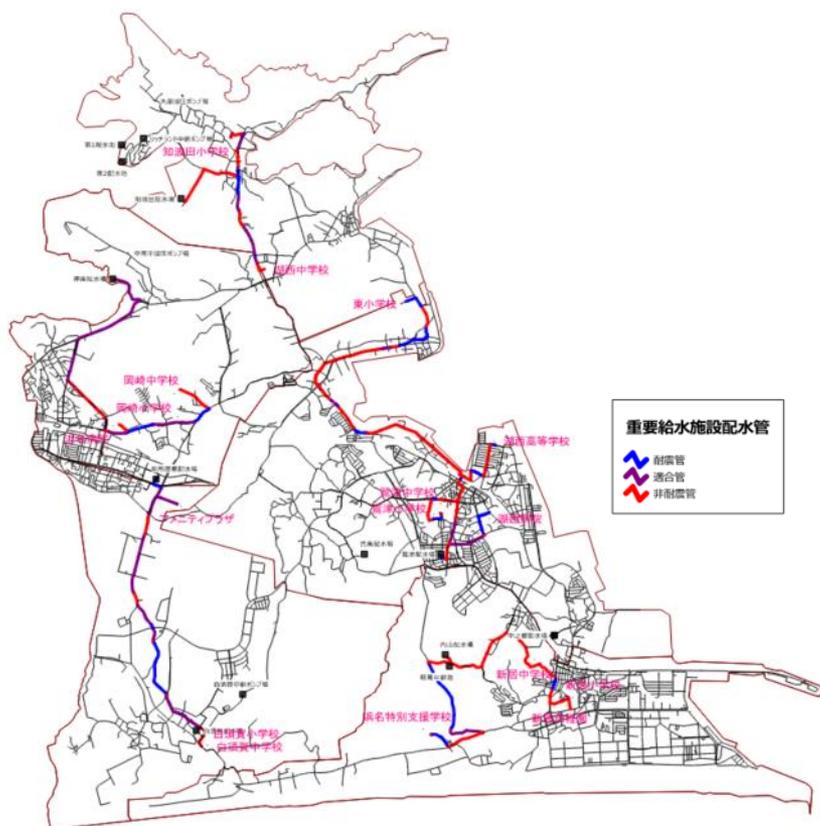
前回審議会からの変更点について

1. 重要給水施設管路の見直し
2. 進捗管理目標及び施策の見直し

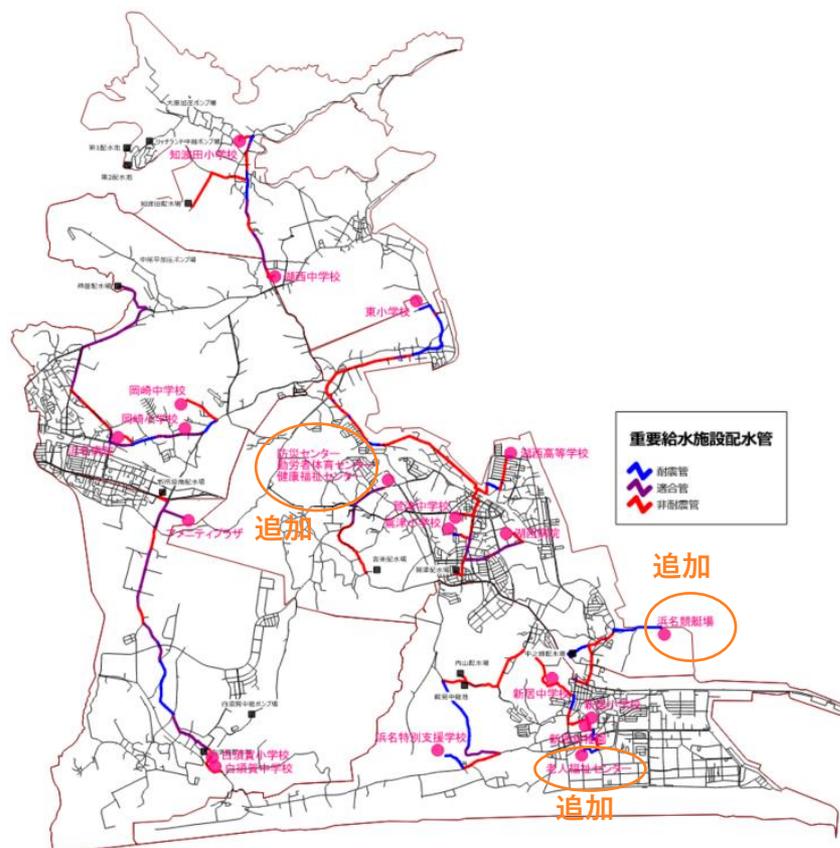
1. 重要給水施設管路の見直し

- 前回審議会にて、上下水道一体での管理対象を示したが、水道事業としての管理対象はこれまでの重要給水施設管路に、新たに防災拠点（防災センター）等への配水管を追加した管路である。

【見直し前（前回ビジョン）】



【見直し後】



※重要給水施設管路は導送水管を含むが、配水管のみ図示

1. 前回審議会からの見直し内容

【重要給水施設管路の耐震化率】

- 前回審議会で示した耐震化率については下表の数値に修正する。

【見直し前】

進捗管理目標と指標値	中間評価	実施状況 (R6)	目標値 (R6)	見直し前目標値 (R11)	見直し後目標値 (R11)
管路の耐震化率 (耐震適合管を含む)	△	39.2%	39.5%	42.8%	42.8%
重要給水施設管路の耐震化率 (耐震適合管を含む)	△	41.3%	51.5%	62.0%	59.7%

【見直し後】

進捗管理目標と指標値	中間評価	実施状況 (R6)	目標値 (R6)	見直し前目標値 (R11)	見直し後目標値 (R11)
管路の耐震化率 (耐震適合管を含む)	△	38.8%	39.5%	42.8%	42.8%
重要給水施設管路の耐震化率 (耐震適合管を含む)	△	51.3%	51.5%	62.0%	62.0%

1. 前回審議会からの見直し内容

【自己水割合】

- 前回審議会で示した自己水割合の実績値については下表の数値に修正する。

【見直し前】

進捗管理目標と指標値	中間評価	実施状況 (R6)	目標値 (R6)	見直し前目標値 (R11)	見直し後目標値 (R11)
自己水割合	×	19.9%	36.4%	39.1%	32.9%

※受水量が配水量に占める割合（（総配水量-総受水量）÷総配水量）から算出

【見直し後】

進捗管理目標と指標値	中間評価	実施状況 (R6)	目標値 (R6)	見直し前目標値 (R11)	見直し後目標値 (R11)
自己水割合	×	23.8%	36.4%	39.1%	32.9%

※運転年報値（取水量÷総配水量）から算出

2. 進捗管理目標値及び施策の見直し

【基本施策：事業経営の健全性の確保】

具体的施策③：支出の削減方策の検討について、前回審議会では進捗管理目標を「経費削減率」から「経費増加上限率」へ変更するものとしていたが、昨今の物価上昇等を予測することは困難であることから、後期からの進捗目標を「経常収支比率」とする。

また、施策を「**財政基盤の強化**」に統合する。

【前期施策】

財政基盤の強化（収入）

財政基盤の強化（支出）

財政基盤の強化（廃止施設等の検討）

【後期施策】

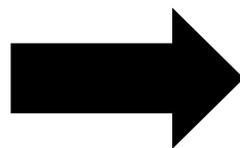
財政基盤の強化

【前期進捗管理目標】

経費削減率

【後期進捗管理目標】

経常収支比率



2. 進捗管理目標値及び施策の見直し

基本施策：事業経営の健全性の確保

施策：財政基盤の強化（支出）（廃止施設等の検討）→【後期より】財政基盤の強化

具体的施策：支出の削減方策の検討→業務効率化による事業の安定性維持、遊休資産の整理

進捗管理目標と指標値	中間評価	実施状況(R6)	目標値(R6)	見直し前目標値(R11)	見直し後目標値(R11)
経費削減率（※1）	×	-16.9%	2.5%	5.0%	-
【後期より】経常収支比率（※2）	-	109.51% (102.82%)	-	-	110%以上
遊休資産の削減数（累計）	×	0箇所	1箇所	2箇所	2箇所

※1 経費削減率：2018年度実績の営業費用（減価償却費及び資産減耗費を除く）に対する削減率

※2 経常収支比率は施設解体費用及び資産減耗費を除いて計算した数値を掲載。

下段（ ）は、通常の経常収支比率の計算による数値を掲載。

2. 進捗管理目標値及び施策の見直し

実施状況

・経費削減率

水道スマートメーター導入に伴う実証実験や全戸設置に伴う取り組みにより大幅な人員削減ができず、また、物価上昇に伴う経費増額により、削減ができていない。

・遊休資産の削減数

中之郷配水場の一部遊休資産の借地箇所について地主と調整し、2024年度に一部解体を実施した。

見直し方針：経費削減率を經常収支比率に変更

・經常収支比率

近年の人口減少及び物価・人件費・借入利率の上昇の中、現状維持のままでは經常収支比率の悪化を招くことから、事業経営の健全性の確保のため、業務効率化や経費削減を継続して行う。

・遊休資産の削減数

中之郷配水場の一部遊休資産の解体により2025年度に借地箇所を返還予定である。引き続き廃止となる施設の解体を実施する。

2. 進捗管理目標値及び施策の見直し

【基本施策：運営基盤の強化】

施策「官民連携の実施」及び「広域化・広域連携の検討」について、前期で掲げていた進捗管理目標「包括委託の導入」及び「シェアードサービスの導入に向けた検討」を完了したため、施策を統合し「**官民連携の実施、広域化・広域連携の検討**」とする。

【前期施策】

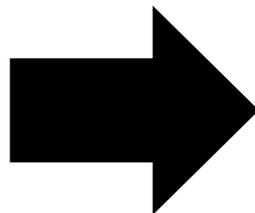
官民連携の実施

広域化・広域連携の検討

新技術の導入

技術の継承

利用者との相互理解の推進



【後期施策】

官民連携の実施、
広域化・広域連携の検討

新技術の導入

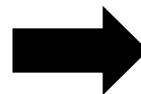
技術の継承

利用者との相互理解の推進

【前期進捗管理目標】

包括委託の導入

シェアードサービスの導入に向けた検討



【後期進捗管理目標】

包括委託の効率化